



商工かほく 3

令和7年3月 第102号



児童育成交流事業

かほく市の産業とは大きく異なりますが、それゆえに交流により意外性のあるさまざまな成果が得られると思われれます。今後も交流を続け、交流がさらに広がっていくことを望みます。

去る1月16日(木)かほく市高松産業文化センターにおいて、沖縄豊見城市商工会から上原直彦会長を含めて12名、かほく市商工会から南春夫会長を含めて14名による交流会を行いました。豊見城市商工会は、豊見城市商工会青年部とかほく市商工会青年部との30年を超える交流(かほく市商工会が誕生する10年前からの交流)があり、それに加えて能登半島地震の復旧・復興を観光で支援しようとの考えで今回の来会となりました。30年に渡る交流は、主に青年部の子供たちを対象とする児童育成交流事業で、3年に一度、子供たち10名程度を、夏はかほく市から豊見城市に派遣、沖縄の透き通った海を中心としたレジャーを経験、冬は豊見城市からかほく市に派遣、スキーや伝統工芸を経験、相互交流を行ってきました。今回来会した方の中には、児童育成交流事業に参加された青年部OBの方が多いです。沖縄豊見城市は、県都那覇市に隣接した市で、人口65,889人(R6.12.31現在)、商工会員1,329事業所(R6.3.31現在)で、かほく市商工会より少し大きな商工会で、市の特産品は、泡盛・ウーヅ染め・琉球漆器など多彩です。

能登半島地震の復興を観光で支援 豊見城市商工会との交流

とみまぐしくし



事業所紹介

ココロデザイン

かほく市高松 ☎ 090-1396-5101
MAIL kokoro.design22@gmail.com

★お店の特徴★

自然豊かな高松にある海の近くの完全予約制の小さなカウンセリングカフェです。

ゆったりとした時間の流れる場所で、こだわりのコーヒーとオリジナルブレンドのハーブティーを飲みながら、カウンセラーと共にご自身の心と向き合い癒されるカウンセリングをしています。箱庭セラピー、アートセラピーなど内面の表現を重視したカウンセリングを得意としています。

★おすすめの商品★

初回カウンセリング(ドリンク付)・・・6,000円

★カウンセラー紹介★

カウンセラー 竹内 佳代 臨床心理学 修士
社会福祉学部を卒業後、大学院にて臨床心理学を修了。これまで悩める親子、生きづらさを抱えた大人の方の数多くのカウンセリングをしてきました。現在は、アートと心理学を組み合わせた新たな事業にもチャレンジしています。FMかほくで毎週金曜日15時からラジオ番組を放送中です。

★プレゼント商品★ ドリンクと無料相談 10名様



ココロデザイン HP QRコード



地域を明るくし、企業を元気にする 商工会女性部のご案内

商工会女性部は、地域と共に
楽しく活動しています。

新規会員募集中!

問い合わせ先 かほく市商工会女性部 かほく市高松ク42番地1
TEL(076)204-6822 FAX(076)282-5663

編集後記

サービス部会より広報委員となり、岡田です。初めてこの「編集後記」を任せられました。この一年、商工会の県大会や研修会等があり、部会理事、委員になるまでは知らなかった様々な活動への貢献に大きな役割を果たしていることに気づかされました。ここ数年、コロナ感染症のパンデミックや能登の震災、急激に進むデジタル化の波など我々の生活、経営にとって大変な出来事がおこっています。こういう時代だからこそ地域でこれ以上の上の連携、協力が必要ではないかと思っています。商工会組織は、その地域の必要性に即応することができ、商工会組織であることを実感しています。役員の皆様だけでなく、会員の方々にも是非、商工会活動に参加いただき、共に地域を盛り上げていきましょ。ご意見やアイデアをうかがいたいと思いますので、よろしくお願いたします。



デザイン マチ

広報委員
岡田 徹
マッチイメーキング(宇野苑)

読者プレゼント!

今月号で紹介した「ココロデザイン」様より10名の方にドリンクと無料相談を抽選で差し上げます。プレゼント応募券に必要事項をご記入の上、葉書に貼って、3月31日(当日消印有効)までに投函下さい。なお、当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

申込先……〒929-1215 かほく市高松ク42-1
かほく市商工会広報委員会事務局

※本応募券にご記入いただいた個人情報は、上記の利用目的以外には使用しません。

(切り取ってハガキにお貼り下さい)

読者プレゼント応募券

(応募締め切り 3月31日 当日消印有効)

住所 〒 かほく市
ふりがな氏名 _____ 年令 ____ 才 ____
連絡先 TEL _____

ココロデザイン 様

本誌感想や商工会へのご意見などをお聞かせ下さい。

目次
P2 2025新春講演会
P3 3部会合同新春経営講演会
新年互礼会
商工貯蓄共済
小規模企業共済
桜まつり予告
P4 事業所紹介
読者プレゼント応募券/編集後記

<https://kahoku.shoko.or.jp/>

2025年の日本経済展望

講師 読売テレビ報道局長 解説委員長 高岡達之氏

去る1月10日(金)、かほく市高松産業文化センター一階大ホールを会場として、読売テレビ放送特別解説委員 高岡達之氏をお招きして「2025年の日本経済展望」と題して新春特別講演会を開催しました。その主な内容について掲載します。

まずはこの度の能登半島地震により、被災された皆様は心から御見舞い申し上げます。私は兵庫県に在住しているが、本年は阪神・淡路大震災から30年になる。なにより皆様のなりわいが一刻も早くもとに戻ることが必要と考えている。本日はトランプ氏の大統領就任以降について、日本の政治について説明し、2025年の流行、最後に人を大切にすることの重要性の4つに分けて説明する。

トランプ氏の大統領就任以降の米国について

米国は1月20日にトランプ氏が大統領に就任する。彼は昨年6月に「関税は辞書の中で一番美しい言葉」であると語っているが、実際はその前に「愛と信頼の文字を除けば」と言っている。これは同盟国の首脳と直接会って協議し、信用出来るか否かを見極め、信頼を得た場合は高い関税はかけないというのである。トランプ氏の実像は、つまり相手へのリスベクトを重視している。酒、煙草をやらず、私服を持たず、困った人間がいたら寄り添うのである。拉致被害者の横田めぐみさんの母・早紀江さんに寄り添い、手を握った外国の首脳はトランプ氏だけである。そのような一面を知っていないと日本は損をする。石破首相は上手くいけば2月にトランプ氏に会えるかもしれないが、会って何を話すのかよく考える必要がある。提案内容にメリットがあればすぐにも会えるものだ。トランプ氏は選挙後に一番最初に会ったのは、アルゼンチンの大統領だ。アルゼンチン、ボリビア、チリの国境地帯は世界の約6割にも上るリチウムが埋蔵されており、「リチウムトライアングル」と呼ばれる聖域である。その多くを中国に押さえられているが、アルゼンチンだけはまだ押さえられていないためリチウムがある。リチウムはグリーンランドにも埋蔵されている。また、米国の危機は橋である。昨年も崩落した橋があり、全体の40%はいつ崩落してもおかしくない状態となっている。米国は橋の修理は不得意であり、そのような所に日本のビジネスチャンスがある。また米国にはスティーブ・ニューワルトという人がいる。この人は岸田前首相が就任時に最初に会った人であり、米国の大手投資ファンドであるブラックストーン(株)の会長で、ブラックロックの親会社である。すなわち日本の命運を握っているといつてよい。彼は今も権力者であり、世界有数の大学には彼の息のかかった研究機関がある。それは中国の清華大学にも存在する。その彼がトランプの後ろ盾となり、今後は脱炭素方針を当分見直す



新春特別講演会

と言っているのである。そのため脱炭素の圧力は当面和らぐことになる。但し、日本は4年後の大統領選挙後の世界も踏まえた両にらみで行くべきである。

日本の政治について

自民党、公明党、国民民主党の3党の幹事長が会談し、103万円の壁の引き上げとガソリンの暫定税率の廃止で合意した。これは森山幹事長の力が大きい。森山氏は立憲や共産とも意見交換ができる人間である。おかげで石破首相は、参院選前までいつてもガソリンの暫定税率廃止のカードを切る事が出来るようになった。森山氏の影響力は日本の予算の配分についても及んでいるといつてよい。予算配分は実態としては平等ではなく、特定の県や市に偏って流れてしまっている。上手くやる自治体は当該地域が不便な土地柄であることを訴えて予算を引く張っている。その最たる例が森山氏の出身地である鹿児島県である。鹿児島県には桜島があり、今日まで火山灰に悩まされてきたが、政財界が一枚岩となって予算の獲得にあたり、日本一に育てている品目が多い。例としては畜産・養殖を挙げることができる。黒牛、黒豚、地鶏、ウナギの生産数は日本一である。火山灰によって米の生産が難しく代わり、さつまいもの生産に適している。また温泉やシラス台地によって濾過された水がある。芋と水とくれば焼酎である。また、芋を麦に替えたらウイスキーが出来ると。そのためウイスキーの生産にも積極的である。今の世界三大ウイスキーといえば、一つはスコッチ、次にバーボン、三番目はジャパンウイスキーなのである。顧客は東京のみならず、世界からやってくる。そこに鹿児島県の焼酎メーカーは目を向けウイスキー製造に乗り出した。また、熊本県は横から入って補助金を持つて行くのが上手い。TSMCの第三工場には四九〇億円の補助金がついている。またTSMCの会長は台湾有事を気にしており、そのため食料自給率の高さを決め手になった。九州の畜産全般は雄大な自然を活かして伸び伸び育てているため味に影響して美味しくなる。但し、生き物であるため、その動きや顔色を見ながら接する必要があるため、常に人手が必要であった。しかし今はIT化によって張り付く必要がなくなった。牛に無線温度センサーを飲ませると胃の中で牛の微弱電流を読み取りそれをiPadに送信されることで一頭一頭の牛の状態が事務所の中でわかってしまうのである。そうなることと少人数で多くの牛を管理することが出来るようになり、高付加価値の肉を大量に生産することが可能となる。そしてIT化は国も補助金を出すために都合の良い理由となる。

2025年の流行について

2025年に流行する言葉は「モーダル」であろう。輸送手段を自動車から船などに変える「モーダルシフト」、感覚の組み合わせで満足感を高くする「クロスモーダル」などがある。入浴剤の効果を増幅させる心地良い音や、ビールのおいしさを増幅させる映像と音楽によって五感に働きかけて売上アップを図るのである。最後に情報の組み合わせで処理する「マルチモーダル」がある。大阪万博がもうすぐ開催されるが、今回の万博の見所は「日本政府館」

にある民間企業の展示物である。1970年の大阪万博ではエスカレーターからヒントを得た「動く歩道」が展示されていた。当時はそのようなもの誰が使ったかという意見もあつたが今では新宿駅から都庁までの歩道や羽田空港などで必要なものとなっている。今回の万博では認証技術の組み合わせによる進化が注目である。本人を認証するために、顔の骨格形状、瞳の虹彩模様、耳の形状を組み合わせるのがある。すると他人と間違える可能性は、百億分の一まで下がる。これは世界人口が80億人であることを考えれば、他人と間違えることはなくなるという話だ。この認証技術が普及すると、お金を支払うために、財布やスマホを忘れても、顔はくついているので支払うことが出来るようになる。

人を大切にすることの重要性について

これだけ技術が進展している中、その技術の導入や工場の誘致のため、補助金をどうやって引く張ってくるかという努力が必要になる。しかし最後には人を大切にすることの重要性を説いて終わりたい。万博会場近くにある物流センターについてだが、昔は効率性重視で地方のインフラを多くがもたらした。しかし物流の活発化により都会にも配置する必要がある。そのため近隣住民の支持を得る必要がある。何をやったかという、住民の憩いの場を取入れた。すなわち物流センター、テニスコートなどを設置したのである。また物流施設の耐震性を活かして、南海トラフなどの大地震の時には近隣住民の避難場所になることもアピールしている。また、長距離ドライバーからの需要が最も高いのが風呂に入ることである。金沢市にあるトラックステーションに大型トラックが来ているのは風呂があるという理由が大きい。金沢以外には足柄サービスエリア等数える程度しかない。さらに風呂は離職率を下げる効果がある。トヨタは昨年不正ニュースがあつたが、本社にはこれまで不正が無いのである。その理由として「おやじ」と呼ばれる人の存在が大きい。「おやじ」はトヨタの取締役の1人であり、さらに「おやじ」は役員もなっている。本社には大浴場が3つあり「おやじ」は入社以降、今も朝6時にその風呂場に入ってから現場へ向かう。何かの理由で失敗した従業員は「おやじ」に会い、朝6時にその風呂場へ行く。そこで「おやじ」は内容を把握することができる。それがトヨタ流の「みそぎ」となっている。不正を行うような会社では末端の従業員が取締役になる。かほく市の皆様におかれましては、何とか知恵を絞って補助金を獲得し、産業を発展させ、雇用を増加させるような取り組みを頑張ってください。

講師はジョークを交えながらの1時間30分を越す講演を終え、聴講者の拍手の中降壇した。

三部会 新春講演会

「看護×モノづくり」

講師 真田 弘美氏 (石川県立看護大学学長・東京大学名誉教授)



令和7年1月24日(金)17:30より、かほく市高松産業文化センター中ホールにて、「3部会合同新春経営講演会」を開催しました。当日は24名の方々に参加いただきました。

講演会では、石川県立看護大学学長・東京大学名誉教授である真田弘美氏をお招きし、「看護×モノづくり」をテーマにご講演いただきました。

真田氏は、産学連携による医療機器(工)やママトレス)の開発事例や、専門分野である褥瘡(じよくそ)ケアに関する取り組みの紹介。また、看護分野における将来のイノベーションについての展望も語られ、参加者からは多くの関心が寄せられました。

講演後、懇親会の時間では活発な意見交換が行われました。医療とものづくりの融合という新たな視点を学ぶ貴重な機会となり、参加者からは非常に参考になった「今後の業務に生かしていきたい」との声が多数寄せられました。

新年互礼会



去る1月10日(金)午後5時30分より、かほく市高松産業文化センター1階中ホールにおいて、かほく市商工会主催の新年互礼会を開催、約100人が能登半島地震からの復興と地域経済の活性化へ一層の連携を誓いました。

南春夫商工会長が「なりわい補助金や持続化補助金を活用し地域を元気にする」とあいさつし、油野和一郎市長は「大崎地区などの液状化被害の復旧に全力を尽くす」と述べました。宮本周司参議院議員、杉本成一市議会議長が順に祝辞を述べ、竹本重久副市長の発声で乾杯しました。

その後、参加の皆さんは、先に行われた新春特別講演会の内容も参考に今年巳年はどのような年になるか、今年の抱負などについて語り合いました。中締めは、西田省三市町会区長会連合会長が行い、和やかな雰囲気の中、新年互礼会を終了しました。

~1つの掛金で3つの備え~

商工貯蓄共済

満期を迎える方は継続加入を!

商工貯蓄共済が満期を迎え、継続加入する場合の最大のメリットは、その時の健康状態に関係なく、元の保険金の範囲内で保障を継続できることです。満期を迎える方は、是非、継続加入をご検討ください。

- 貯蓄** がっちり貯める 利息が複利で積み立てられるため、たいへんお得な貯蓄です。
- 保障** しっかり守る 集団協定期保険料率なので保険料が割安です。万一の場合、貯蓄積立金に加え、死亡保険金をお支払いします。
- 融資** きっちり支える 低利の融資制度を準備しております。なお、融資の可否は、信用金庫とご相談となります。

詳しいお問い合わせ・お申し込みは **かほく市商工会** へご連絡下さい!!

退職後のゆとりある生活を応援します

オンライン手続きが可能になりました

小規模企業共済

小規模企業共済は、事業の廃止・退職後の生活安定資金を積み立てて準備する共済制度です。掛金は、全額を所得控除できるので節税効果もあります。

かほく四季まつり

桜まつり

4月5日(土) 午前10時~午後4時

令和6年 能登半島地震復興支援チャリティーイベント

イベント会場: 高松中町通り額神社周辺 特設会場

＜歩行者天国＞ 午前10時~午後4時 (通行止) 午前9時~午後5時30分

イベント内容

- チャリティ餅つき
- 民謡・演奏・唄と踊り
- 市内幼稚園児による演技
- 市内保育園児による演技
- 高松中学校吹奏楽部演奏会
- めった汁無料ふるまい ● その他

まつり会場には模擬店がいっぱい!!

にゃんたるうと 遊ぼう!!